

平成30年度 第4回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 川越市子ども会育成団体連絡協議会～



日時：平成31年2月5日（火）

午後6時30分～8時

場所：中央公民館 3階軽体育室

参加者

川越市子ども会育成団体連絡協議会 29名

出席者

市長、栗原副市長、総合政策部長、市民部長、文化スポーツ部長、教育総務部長
学校教育部長

意見数

分類	件数	内容	頁
教育・文化・スポーツ	8	・外国籍の児童生徒や保護者への対応	8
		・学校と地域の協働	10
		・地域行事の周知	13
		・少年少女スポーツ大会	13
		・母親の仕事と育成会活動①	25
		・川越市子ども会育成団体連絡協議会の存在意義	26
		・学校施設の整備	26
		・母親の仕事と育成会活動②	28
都市基盤・生活基盤	2	・子どもの遊び場	21
		・公園整備	25
地域社会・市民生活	3	・通学路の安全①	2
		・防犯カメラ設置	24
		・通学路の安全②	27
計	13		

意見交換（要約）

意見 川越市子ども会育成団体連絡協議会の会長をしております。本日は、川合市長様のお計らいによりこのような機会を設けていただきまして、大変にありがとうございます。

子ども会は、戦後まもなく始まった児童愛護班結成活動をきっかけとして全国各地に結成されてきました。本会については、昭和43年に結成され、半世紀にもわたり活発に活動してまいりました。現在は小学校区26校区、中学校区1校区が加盟し、子ども会会員数が1万5,000人、育成会会員数が1万2,000人にも上る県内屈指の団体です。

結成から50年を経て社会状況が変化し、価値観も多様化する中で、子ども会活動にもさまざまな課題が持ち上がっておりますが、その中でも、お集まりの役員の皆様方には、子どもたちの健全育成のために大変ご尽力をいただいております。

本日は、川合市長様と直接お話ができる貴重な機会ですので、日頃地域で活躍されている皆様ならではの視点で活発なご意見をいただき、有意義な時間としていただきたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

《通学路の安全①》

意見 泉小校区で校区育成会長をしております。登下校時の安全についてということで、泉小校区では北環状線開通で周辺環境が大きく様変わりをしております。子どもたちの登下校に影響が出るおそれがあるのではと地元住民の方や児童保護者から心配の声が上がっております。市としても、安全面に対して配慮をお願いしたいなと思っております。

具体例としましては、今、泉小校区にはスクールガードが1名いるのですが、交通量も上がることなどから、もう1名であったり増員をお願いできないかなということ、あとは貯水池ができるということですので、その貯水池と貯水池の間を子どもが通ることになりますので、そちらもちょっと高い柵をつけるなど、市でも安全面に配慮をしていただきたいと思いますなと思っております。

市長 北環状線は今年度中、3月には竣工するという予定で工事を進めているところですが、あれは県の工事になります。

今、スクールガードを増やしてほしいという、ご要望が出ましたけれども、それ

については今後、検討させていただきます。

それから、貯水池への柵については県がしっかりやってくれるはずですが、万一できていないところがあるということがあれば、すぐ県に対して市としても要望を出してまいりますので、ご理解いただきたいと思います。

意見 今成小学校です。同じく北環状線が開通するというところで、北環状線とクロスする感じですがそばを登下校の道があります。歩道橋をかけていただいたんですが、児童の9割がそれを渡って登下校します。歩道橋をおりてから通る道は市道ということで、地域住民や学校側からもいろいろ安全対策をお願いしているんですが、市側からは開通してから様子を見てというような、ご返答があったみたいで、それだと心配だなというところもありまして。開通と同時に学童注意という看板をたくさんつけてほしいとか、歩道橋をおりてから子どもたちが通る道路にグリーンベルトを書いてほしいとか、いろいろ要望を出させていただいておりますので、お金のかかることだとは思いますが、どうぞ子どもたちの安全のためによりしくお願いいたします。

市長 今成小で、歩道橋をおりた後の道路というのは、新しく通学路になるのですか。

意見 もともと通学路なんですけど、今現状は車が普通に双方向から通り抜けられるんですが、北環状線が開通しますと左折しかできなくなるそうで、そうすると車の流れも大分変わってくるかなということで心配しております。

市長 車の流れが変わるようであれば、それに応じてグリーンベルトであるとかそういうものも工夫していきたいと思います。今、場所が具体的に思い浮かばないので、所管課に確認をして、その辺のところは対応していきたいと思います。

意見 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

意見 高階小校区です。多分ほかの地域の方もいるかと思うんですが、交通量があるところや、カーブで見えにくいところを渡らなくちゃいけない場合の、手押し信号をつけていただきたいという要望についてと、あとは高階小は駅前ということがありまして、朝もすごい交通量があって、駅前は今、先生方が立っていて、そのほか4か所、保護者が立つところがあるんですけども、やはり立つ場所が多くて、保護者も年に何回も出なくちゃいけないという状況もあります。あと帰りも交通量も多く危ないところが多いのですが、帰りはやっぱり立つ人がいないんです。ほぼ

ほぼいないので、誰か立っていただく方というのはできないのかなというのがあります。

市長 まず、1点目の信号機なんですけれども、信号機は公安委員会の担当ということになります。ご要望いただいたときは公安委員会、窓口は警察なんですけれども、そちらのほうにそのご要望をしっかりと伝えるということは必ずやっております。手順としては自治会長さんから書面で要望を出していただいて、それを警察、公安委員会に上げるという手順でやっているのが普通です。

公安委員会も、県全体を所管している関係で、予算で1つの市に新しい信号機がつくのは年に1か所ぐらいだったかと思うので、要望を出したからといってすぐにつくというわけではないんですけれども、要望を出さなければつきませんので、どんどん要望を出していただいたほうがいいと思います。

それから、立哨というか子どもさんの登下校を見守る人たちのことなんですが、今のところ朝は交通指導員が必要なところには、人数的には少ないですけれども、市全体で50人ぐらいが交通指導員として各学校の担当でやってくれていると思います。

人数が多く必要だという場合であれば、行政のお願いとしては、地域の防犯の方々とか、自治会の方とかそういう方に支援を要請していただければとてもありがたいなと思っています。地域によっては防犯パトロールを担当している防犯組織の人とか、それに入っていないなくてもボランティアでやってくれている人がいるんですけれども、そういう形で人手を頼んでいただけるのが一番いいのかなと思っています。

意見 今、市長が言われたように、学校、校区とか地域によっては、自治会の人と協力して、要するに親じゃない世代の方々に、帰りにですけれども、立哨していただいているようなところは具体例として結構数あると思います。ただ、それも皆さん高齢化してきて大変だという言葉聞くのと、あと信号とともにスクールゾーンみたいなものも、かなり地元の間が主導で動いてくれないと、なかなかならないということも聞いたことはありますので、地域で一回まず声を上げるのも適切かなと思います。

意見 武蔵野小学校区です。武蔵野小学校区には川越インターチェンジが含まれておりまして、ちょうど国道16号と川越インターチェンジと、あと西武新宿線が囲

まれているところに、なぜ認められたかは本当に納得できないような場所に宅地がありまして、そこに新入学児童が2名入る予定になっております。もう昨年度から春の時点で、入学がわかった時点で、どうやって通学をしたら安全なのかということ、かなり写真を撮ったりとかして、歩道橋をつくってもらいたいとかそういうことを要望するために、市長宛てに要望書をつくったりまでもしました。

育成会に入るとなると通学班で行く、通学班で集合できるところまで行くのに、川越インターチェンジの出入り口を2個歩道橋を渡っていかなければいけない、そこも本当に草もすごい生い茂っているところで細くて、明かりもないようなところで、とても人が歩いているような場所ではないんです。一応、歩道橋はあるけれども、さびているような状態で、校区内なのにそこに行くまでも親について行ってもらわなければ安全が守られないというような状態なので、お隣の大東東小のほうに行くという話もあったんですけども、校区外だと結局親がついていかなきゃいけないということもありまして、武蔵野小に行きたいということに今なっています。ただ、その通学路を行き来するのが大変ということで、結果的には育成会には入らずに親御さんが送り迎えをすることにしてはいるんですけども、それでちょっと不条理というか、何かかわいそうだなと思うところがありまして。一応、近道みたいなところのアンダーパスがあるんですけども、そこはもう県で指定されている冠水のおそれがあるところで、通学路としては認められないということは地域の方とも話し合っていて決まっていることなので、そこは通せない。それで、アンダーパスのところに歩道橋をつくっていただきたいという要望書なんですけれども、インターチェンジのところなので、線路もあるのでとても長いんですけども、要望としてはあります、実際に。

あとは、また別の場所なんですけれども、川越駅西口から南大塚のほうに通じる県道ができたんですけれども、そこができたことによって大東東小のほうからの越境者がとても増えています。もちろん安全に努めたいということで武蔵野小学校区の中に、育成会の方と一緒に安全な道で行っていただくようにはしているんですけども、少し遠回りになってしまったりするということで、育成会に入らず、近い道で、それも親が送って1つの班を編成しているというような状態になっています。しかし、それが認められてしまうと、どんどん育成会から抜けていってしまう方がいて、近くの人で班をつくれれば育成会に入っていなくても行っていいんじゃないか

とか、そういう意見もすごく出てきているので、育成会のあり方とか通学路のあり方ということも考えていかなければいけないかなと思っております。

意見 大東西小校区です。大東西小学校は、国道 16 号が割と近くにあって、入間川街道という昔国道 16 号として使われていた旧道を渡らないとどうしても学校に行けない学区になっています。旧道もすごく狭くて、朝の登校時はすごく車の量も多く、また横断歩道もいろいろな場所に設置はされているんですが、その立哨当番もすごい等間隔で立つような形になっているんです。

いくら立哨当番をしていても、旗が見えていても、車は無視して通過していくということも頻繁にあったり、また先に行くとき緩やかなカーブで上り坂になっている場所があり、そこは学校から国道 16 号に抜ける道とつながっていたりというものもあり、交通事故が多発している場所になっています。

川越市長にも、一度小学校の P T A 会長からどうにかしていただきたいということで嘆願書を出させていただいた経緯もあるんですが、道の幅からいうと、信号を立てたり、点滅の信号を立てるということが難しいということで、今は、車に注意とか子どもたちに注意みたいな形の旗を立てていただいているんですが、道幅も狭く車の行き来も激しいので、そういったところを少し時間的に、スクールゾーンみたいな形で一時的にとめていただくとかというふうに検討していただくことはできるんですかね。

先ほどもお話があったと思うんですが、こちらは地域が動けばどうにかなるものなんですか。大東西小学校では結構前々からそのポイントは問題に上げられている場所で、やっぱりここ何年かで何件か事故もあるので。

総合政策部長 私は前に交通政策課というところで交通関係の仕事をやっていたものですから、お答えできる範囲でお話させていただきます。先ほど言われたのは、時間を切って、子どもたちが登下校する時間だけ車を通さないようにというお話かと思うんですけれども、それもやはり警察の仕事になります。

実際問題、そこ以外に通れる道があるのであれば、そういったことも可能にはなるかなと思います。ただ実際にそこを止めたときに、今度は車が流れる場所がないと、警察としても、規制するのはなかなか難しいのかなという気はしています。

先ほど旗のお話もありましたが、そういった面でドライバーに注意喚起を行っていくというのが、私が聞いた中で今考えられる一番の方法かと思います。

それと、先ほど一番初めに市長が申し上げたように、信号については5年のうちに2つ、3つやっとならざるぐらいの状況だと警察から聞いたこともありますので、なかなかあてにはならない中では、やはり注意喚起をドライバーに行っていくというのが一番いいのかなと思っています。

意見 先ほど少し言葉足らずだったんですけども、地域でスクールゾーン等をまとめるには、地域の100%近い協力がないとなかなか難しいということなんです。それがすごく苦勞されたというのを、以前、自分がPTAの会長をやっていたときに、その同じ会長さんの仲間からお聞きしたなど。うろ覚えの情報ですけども、そんな状況でしたので。また、次のハードルはまた別にあるんだと思います。

意見 ただ、大東西小学校は本当に横長の地域なので、入間川街道沿いをどうしてもすごく長く、1キロ近く歩かなきゃいけない家もあつたりとか、ようやく学校の近くまで行くと入間川街道からそれることができるというような場所もあつたりとかします。なので、そこ全部を規制してしまうということは多分できないとは思いますが、何しろ道が狭いので、交通指導員さんにもたくさんご協力いただいたりもしていますが、どうにかしてほしいです。

市長 入間川街道はかなり交通量が多い道ですから、そこをスクールゾーンとして、朝の一定時間だけでも通行止めにするというのは無理だと思います。

むしろ、もし裏道があるのであれば、裏道を通学路にするという可能性はないのでしょうか。

意見 裏道になってしまうと、福昌寺というお寺があるんですが、そこからずっと大東市民センターのほうに回っていくようになるので、多分、学校につくのに1時間ぐらいかかっちゃうんです。なので、裏道になってしまうとまた遠回りにもなるので、それもそれで登下校に時間もかかるしというのもあるので、そちらは難しいです。

市長 もう一つの可能性としては、ゾーン30といって、制限速度を最高30キロに制限する地域に指定してもらうことで、取り締まってもらうということも可能性としてはあり得るんじゃないかなと思います。

ただ、ゾーン30も公安委員会が場所を選んで指定していきますので、具体的にここをというような、ご要望をまずは出していただかないと物事が進んでいきません。

意見 本当に子どもの安全ということが第一だと思いますので、切実な問題だと思いますし、また各校の皆さんというのは、その登校班という一番基本的な単位のところでは一番頭悩ませていることだと思います。多分、学校ともいろいろお話をなされて、まだ解決策が見つからないという状況だと思いますけれども、声は上げ続ける必要はあるのかなというふうに思います。

《外国籍の児童生徒や保護者への対応》

意見 新宿小校区です。川越駅から徒歩10分から30分ぐらいの間ということで、最近、大変外国籍の転校生が増えております。片親でも日本人であれば連絡事項とかがスムーズに伝わるんですが、親子ともに中国から初めてきたという方に関しては、日本語でのコミュニケーションが大変難しいということがあります。

学校も非常に熱心に対応してくださっていますので、子どもの話によると、子ども同士のコミュニケーションというのはジェスチャーを加えたりですとか、あとは、もともとおじいさんやおばあさんなどが中国好きでとか、そういう関係もあって言葉ができる子どもがいて、何とかコミュニケーションをとって楽しく学校では過ごしているというふうに聞いているんですが、地域のそういった活動ですとか、登校班のことですとか、決まりごとに関しては、近所のそのバイリンガルの方に協力をしていただいて何とか伝えていただいているという現状です。

多くいる外国の方でしたらそういった通訳をお願いできるんですが、そうではない国籍の方もいらっしゃいますので、ぜひ市でも、私設の日本語学校だけではなくて、例えば公立の夜間中学校ですとかいろいろ対応していただけると、よりスムーズに地域活動などができると思いますので、ぜひその辺のサポートをお願いしたいと思います。

市長 これは記憶違いかもしれませんが、最近、朝日新聞に載っていた記事で、無料でダウンロードができるスマホのアプリで、かつ17カ国語ぐらいに対応できるような翻訳アプリがあるんだそうです。ですから、それを使って学校の子どもたちに、外国人の子どもたちに対応すればいいのかなというのを、その記事を読んだときにふと思った記憶がよみがえったんですが、今、学校ではどうしているんですか。

学校教育部長 市内の各小中学校にも外国籍のお子さんが入学、転学している傾向

がございます。それに対しまして、教育委員会では、川越市日本語指導ボランティア派遣事業というものを行っております。外国人の児童生徒の日本語の指導であったり、あるいは学校生活への適応をサポートするという形で支援を行っているところでございます。

ただ、ボランティアの人数も限られていますので、完全にフォローできているかというところではありませんけれども、もし今後にやっておくことがございましたら、学校管理課、また学校を通してそのご相談をいただければ、こちらでできる限りの対応をしてみたいと考えております。

意見 大塚小校区です。今、新宿小校区の方が言ってくださったのと変わらないんですけれども、大塚小校区でもここ数年、中国とネパールから転入生が結構来ているみたいで、今回、中国籍の方が英語も日本語も全く、お母様とお父様も話せないという環境の中で、ご兄弟で入っていて、下の子はお姉ちゃんのクラスに休み時間になると遊びに来て話しているみたいなんですけれども、子どもは遊びが高じて仲よくはなれますが、ただ授業のときに同じ教室にいるのに、多分理解はできていない状況は続いていると思うんです。

私も自分の子どものクラスにネパールの子がいたときに、資料がその子には配られないで、その子だけ同じ授業が全然受けられない状況を見ています。それで、先生もどう対応していいのかわかっていらっしゃらないのかなという印象を受けました。なので、サポートのボランティアさんがついてくださるのが一番いいと思うんですけれども、先生もこういうふうにしたほうがいいのか、何かご指導があったほうがいいのかと思いました。

学校教育部長 先ほど申し上げました日本語指導ボランティアを配置しておりますので、そのボランティアが行ったときには授業の脇について、その言葉で授業の内容が少しでもわかるようにというサポートはさせていただいていると思います。

また、教員に対してそういったお子さん、あるいはボランティアが配置できない、あるいは不在の日などの対応については、改めて今ご意見をいただき、そういう現状があるということはこちらでも認識をいたしましたので、今後また検討してみたいと思います。

意見 ありがとうございます。個別の対応ということも必要かと思いますが、全体で同じように困っている状況を共有している部分を解決するために、今ふっと

思ったんですけれども、先ほどの登下校時の安全の問題と含めて、そういった海外の人にも、現状我々が使っているルールとか、マナーとか、そういったようなことを理解してもらえるための何か国語かのしおりみたいなものが、全体で、例えば市子連や市P連で協力してつくって、皆さんが利用できるようなことというのは、ちょっとずつの努力を重ねて皆さんで協力していけばできるかなというふうに思いましたので、またちょうど我々でも本部で話し合ってみたいと思います。

意見 芳野小校区です。困っているとかではないんですが、私の会社でもベトナムの子たちと一緒に仕事させてもらっており、働きだして今1年ぐらいいんですけれども、当初は言葉もわからないし、でも彼たちは勉強しにきているので、どんどん日本語は覚えるんです。

ただ、習慣や今までの環境が違うので、例えばごみを捨てることにしても、トイレに行くというところにしても、スリッパをそろえるとかそういうことも、習慣がちょっと違う部分があるので、文面だけでは伝わりきれなかったりします。

先ほど市長さんがおっしゃっていたアプリの件なんですけれども、私、アプリではないんですけれども、六十何カ国語対応の違う機械を使用しながらそのベトナムの子たちと会話をしたんですが、日本語で例えばお昼ごはんとか休憩に行くと入れると、その言葉はないんです。彼たちが例えばご飯というと、白いご飯になっちゃう、そのアプリでいうと。だから、ご飯というよりも食べるとか、歩くとか、そういう単語で入れたりすると何となく文面がつながるんですが、お昼休憩、休憩をとってくださいなんていって日本語でいうと、その内容の言葉は、文面はわからないとなっちゃう。だから、なかなかその辺は難しい、機械に頼るだけでなく、人と人なので話しながら、アクションしながらという形で今はコミュニケーションとれていますけれども、なかなかそういうところは難しい部分であるので、文面だけでは伝わりきれないかなというのが印象的に思いました。

《学校と地域の協働》

意見 川越小校区です。職場がふじみ野市なんですけど、ふじみ野市の学校では地域協働学校が職場でも盛んなんですけれども、登下校時の安全のボランティアの話ですとか、外国籍の日本語指導も、より進んでそれが学校の中に入ってきているというのをやっているのを目にしました。例えば日本語指導のことで困っている、そ

れを尋ねたら、じゃこの人に頼めばいいよという、先ほど言われた連絡先とかそういうものが、きちんと学校の中にも地域の中にも共有してあるので、連絡してボランティアを頼みやすい。あとは、下校時の見守りで、地域のいきいきクラブというんですけれども、各町内からお年寄りの方たちが学校の活動に来たり、1、2年生の下校時にこの校区のここには立ちます、木曜日には立ちますとかということが、学校での困り感とか地域での困り感がよりお互いに共通理解が進んでいるなどという印象を受けました。これから少子高齢化になって子どもは少なくなるけれども元気なお年寄りは増えていくかなと思うので、川越市では、もっと地域と子どもと学校とが、少しずつ変わっていくというような、これからの予定があればいいなと思ったんですが、いかがでしょうか。

学校教育部長 学校と地域とのこれまで以上のつながりをというお話だと思います。これは川越に限らず全国的にお聞き及びの言葉としてはコミュニティ・スクールという言葉がございます。学校運営協議会というものを設置して、いわゆる学校運営に関して地域からのご意見を積極的にいただきながら進めていくという取り組みでございます。川越市教育委員会といたしましても、今後の取り組みについて検討を進めているところであります。

具体的なお話をさせていただくと、今の学校、各学校に学校評議員会というものがございます。もしかするとここにお集まりの方の中にも評議員をお務めになられている方もいらっしゃると思いますけれども、学校評議員になられた方は、学校、あるいは学校長が示した教育方針とか、それから学校の教育活動とか、校長が示したものに対してご意見をさせていただきます。あるいは学校行事、あるいは授業にも参加していただいて、子どもたちの様子についてご意見をさせていただくというものでございます。これから目指しているコミュニティ・スクール、いわゆる学校運営協議会は、地域の方にさらに一歩学校に踏み込んでいただく、つまり、今お話しした学校の教育方針を校長が示し、それを聞くということではなくて、学校の経営方針、運営方針等を立てる段階からかかわっていただきます。そうすることによって、地域の学校に対する思いや願いといったものも反映した、より地域に開かれた学校の取り組みの一つとして位置づけるのではないかとということで行おうとしております。

これは、小学校、中学校、学校単位ということが基本ですけれども、小中学校が連携して、コミュニティ・スクールとしての学校運営協議会を設置することも可能

であるということは国からも示されております。

現在、市内のコミュニティ・スクール設置を目指してモデル校を指定して、研究を進めているところでございます。今、具体的にそういったご希望を伺いましたので、さらに進めてまいりたいと考えております。

副市長 今のお話の中において、地域と学校の協働というような視点でお話されたと思います。

今、川越市で地域づくりや地域コミュニティを考える場合、地域会議というものを各地区に設定して、そこで地域の課題を皆さんで話し合っていて、自分たちでいろいろ解決していこうという取り組みをやっております。

そういった中で、地域会議では高齢者の見守りから、子どもたちの関係、あるいは地域の防犯とか、今、自治会がやっていることも多いですけれども、そういったことをみんなで地域で話し合っていて、地域の人たちが担って行こうという取り組みがあります。また場合によっては登下校の見守りとかもあります。

地域によっては、例えばシルバー人材センターの方がボランティアをやっているというケースがあると思いますけれども、そういった地域コミュニティの再生ですとかそういった視点で取り組んでおります。

市民部長 今、副市長からお話がありました地域会議でございますけれども、市内では市民センター管内ということで、旧出張所の管内にはつくっています。いずれ、本庁管内も地域会議ができるようにしていきたいと思いますが、本庁管内ですと、支会という自治会が集まったグループが11個ございまして、その11個別々に地域会議をやろうとスタートしました。しかし、なかなかそれは難しく、校区も重複しますので、今後、その11個ではなくおおむね3つぐらいに集約してやりたいと思っております。今、努力しておりますので、今後にご期待いただければと思います。

意見 ありがとうございます。正直、何かびんと来ないです。そういういろんな会議体に役職で出ることが多いんですけれども、このメンバーでどうして集められちゃったかなというようなこと、あるいはそういう会議のたびに同じ人たちに会いますよね。もう何かかわりばえないのと、過去の事例としても、子どもサポート委員会に学校応援団の要素を何だか持たされて、地域の方から何で俺らが草刈りやるんだよというようなことを言われるPTA会長さんとかというのは多数あるの

で、ぜひ本当に利用できるような形の人材というのを掘り起こす仕組みを考えられるようなものに、ぜひしていただければなと思います。

《地域行事の周知》

意見 古谷小校区です。古谷小校区は、育成会が地域と連携して行う行事が多いです。中には県指定の無形文化財に指定されているようなお祭りですとかいろんな行事があるんですけれども、育成会も準備にかかわっておりますが、地域の方もお母さん方も頑張っているんですけれども、川越市内での認知度がものすごく低くて、せっかく無形文化財に指定されている行事なので、もう少し周知してもらおうような方法はないでしょうか。

市長 実際に行事をやっている写真とか記事を市の広報に載せるということは、今までもやっていると思いますし、今後もぜひやっていきたいと思います。

それと、いろんな機会を捉えて宣伝をするということが一番ではないかと思えます。万作がありますよね。

内海 万作、弓取式、ほろかけ祭り、いっぱいあるんです。

市長 弓取式はかなり人が来られると思います。私も結構お邪魔させていただいてますけれども、ああいうのは、例えば新聞社に取り上げてもらえれば、しばらくの間は大勢の人が来るといった状況が続くと思いますので、行政もなるべく新聞社の人に、この地域でこういう行事がありますよということを投げて行きたいと思えます。

意見 ありがとうございます。

《少年少女スポーツ大会》

意見 福原小校区です。本年度の夏は、猛暑で急遽スポーツ大会を中止せざるを得ませんで、延期も検討したんですけれども、地域の協力団体との行事の兼ね合いなどを学校とも相談をいたしまして、残念ながら中止ということになりました。

保護者の方からは、開催に当たり何かあった場合は誰が責任をとってくれるのかとか、そのような声もありまして、今回に関しては開催してもしなくても、多分恐らくいろんな意見は出てきてしまったのかなというのがあるんですけれども、そういう声が出てきてしまいますと、こちらとしても大変本当に対応に困ります。この

ような場合、今後も出てくるかと思うので、どうしていったらよいものかなというのと、また、子どもの健全育成を目的としていますので、都内でも体育館へのエアコンの設置も大分進んできているというのも耳にしまして、熱中症予防、また災害に備えてということではあるんですが、その辺の検討もしていただけないものかと思ひまして、お話をさせていただきました。

教育総務部長 エアコンの導入ですが、皆さんご存じのように、3年間かけて今年度を最終年といたしまして、小中学校の普通教室へのエアコン導入については完了ということになります。

ご意見がありました体育館は、もちろん今おっしゃった防災という意味でも必要性は感じているんですけれども、中学校のカリキュラムですと普通教室よりも特別教室での授業が多いということですので、限られた財政の中で特別教室にもエアコンをこれから導入していかなければいけないのかなと考えています。

また、これもご存じだと思うんですが、国では、体育館ですとか教室へのエアコンの導入について補助するということになっているんですが、今のところ体育館のエアコン導入については、そういった制度についてこちらには聞き及んでいないものですから、そういった国の動向も把握しながら、もちろん体育館への導入もこちらとしても頭には入れておりますが、まずは今のところ特別教室へのエアコンの導入が優先されるのかなというふうには考えております。

意見 もう一つ、そのスポーツ大会の開催時期の問題にかかわってくるのかなと思いますけれども、結局中止を決定するに当たって、自己判断でいいのかどうかというのはどうなのか、そこはお答えいただけるでしょうか。

文化スポーツ部長 少年少女スポーツ大会のことかと思うんですけれども、先ほどお話がありましたとおり、特に今年は猛暑ということがありまして、練習等はしたかもしれないんですけれども、当日の大会を中止された学校が福原小以外にも幾つかございました。

大会の実施は、6月から10月の間をお願いしております。基本的に主催は市と教育委員会と、それから市子連さんですとか、あと地区の青少年を育てる市民会議さんとの共催という形になっています。運営は各地区のスポーツ推進員連絡協議会の方たちに主体としてお願いしていて、その方たちに対して自治会や育成会、PTAの方々にご協力いただく、そのような形で運営していただいていると思います。

今年の状況を見ますと、結構ばらつきはあるんですけども、早いところではもう6月頭から実施されています。その他は大体6月下旬ですとか7月頭、夏休みに入ってやっているところは逆に少なく、遅いほうでは10月下旬に行っています。種目はドッジボールが結構多いようでして、先ほど体育館のエアコンという話が出たんですけども、確かに夏だとむしろ体育館のほうが暑過ぎてできないということもあったようです。

そういう中で、今年も特に猛暑でいろんな部活が中止になるですとか、水温が高くなってプールに入れられないというのがありましたので、スポーツ推進委員さんとおちらのスポーツ振興課の職員も相談を受けまして、無理しないで中止にさせていただくなり、その次の対応を考えてほしいということでお話をさせていただいております。

次年度もまた多分猛暑になると思いますけれども、スポーツ推進委員さんもいろんな研修を受けたりしておりますので、そういった中で、実施するにしても時期ですとかやる内容ですとか運営の仕方ですとか、そういったことは注意しながら進めていきたいと思っていますので、ご理解をお願いしたいと思います。

意見 芳野小は、昨年度になります、6月10日で多分一番早い開催だったかと思われ。

参加賞とか賞状とか、補助金といいますが委託金といいますが、そういうものの受け取りの日程よりも早かったんです。昨年度も早いので、その時期にドッジボール大会をしていたんですけども、本当はソフトのドッジボールがほしかったんですが、時期が早かったため、昨年度も今年度も受け取れなかったんです。それで、来年のために大会後、受け取りの日を受け取って、開催のときは通常のドッジボール、学校で使われているようなボールを使用したという形だったんです。

ただ、開催期間を見ると6月1日から10月31日までになっている中で、そのいただけるものの受け取り日程が、去年は6月15日とか19日とかその辺りだったと思うんですけども、そうなってくると、開催日程の日と、その開催を行う万全の準備という部分になるとどうなんだろう。逆に言うと、芳野さん早いんですねというふうに言われてしまって、私も初めてのことだったので申しわけありませんと言いましたが、よくよく書面を見ると6月1日からオーケーなのにその形で、何か何だかなみたいな思いもありました。

その開催なんですけれども、練習日を含めて最低でも2日間とらなければいけないという中で、学校の行事や地域の行事を含めると、その2日間をとるのがなかなか難しい状況でしたので、来年の方たちには行事内容も変えて、進め方も変えてやっていきたいなと思っています。その辺はスポーツ振興課さんと相談をさせていただきながら、無理のないようにという意見をいただきましたので、そのようにやっていきたいなというところです。

ただ、そのいただく日にちがどうなんだろうというところで、すみません。

文化スポーツ部長 確かに芳野小さんは、今、私の手元の資料で6月10日に開催されたということで、実際こちらで5月に説明会をしているんですけれども、スポーツ推進委員さんにお渡ししたのが6月14日、会議の席でという形になっております。新しい年度に入ってから準備等がどういう状況かわからないんですけれども、いただいたことは持ち帰りまして、担当にお話ししたいと思います。

意見 大東西小学校です。大東西小学校では、今年のドッジボール大会は7月14日に行ったんですが、すごく猛暑で、学校や保護者たちからは、特に猛暑に対してのクレームとかご意見というのは全くなく、安全に事故もなくドッジボールを行うことができたんですが、来年度に関しては9月下旬ごろに時期を見直そうということで今、年間予定を見直しているところなんです。スポーツ大会開催に当たって、川越市役所で説明会を5月ごろに行っていたらと思うんです。5月の十何日とかその辺に。スポーツ大会の期間が6月1日から10月30日しかないとなると、厳しいところもあったりする学校もあると思うので、そちらのスポーツ大会の説明会自体を早めていただく、4月に入って早い段階に時期を早めるという検討は、していただくことはできるんですか。

文化スポーツ部長 それは持ち帰りまして担当に相談したいと思います。今、どんな形で来年度の準備を進めている状況なのかを含めて確認したいと思います。

意見 仙波小校区です。先ほど福原小の方もおっしゃっていたんですけれども、猛暑によってスポーツ大会は中止となりました。

誰が責任をとるのかというお話があって、一応その点について、確認させていただきたいんですけれども、私たちの仙波小は、7月の最終の日曜日が毎年ドッジボール大会開催という形で例年決まっています。一応それに対して、各育成会、育成会の予定を組んでいるので、それを大きくずらすというのはなかなか大きいこ

とで、来年もどうしようかなというところではあります。

おそらく、来年も同じような時期に設定をせざるを得ないんじゃないかと思うんですけれども、猛暑か猛暑でないかというのはそのときにならないとわからないので、今年のような状況がまた繰り返されるかというのはわからないんですけれども、7月の下旬となりますと、いろんな地域、日本各地で小学校の終業式で子どもが倒れて死んじゃったとか、そういうニュースが飛び交っている中だったので、学校のプールも中止になったというところがありましたけれども、学校のプールが中止になったのは、校長先生から言われて中止になりました。校長先生はまた市から連絡があって中止になりましたということなんですけれども、このスポーツ大会については誰がとめてくれるんだというところがありまして、私が校区長なんですけれども、みんな各育成会が私に対してどうしてくれるんだ、どうするんだ、どうするんだという形は毎日毎日メールがあって、校長先生に連絡をして、どうしましょう、どうしましょうという相談をしていたんですけれども、校長先生も、管轄ではないので僕が何とも言うことができない。ただ、学校としてはその涼しい部屋、エアコンの工事が終わっていませんでしたので使うことができませんでした。ただ、学校としては協力をするけれども、管轄ではないと。じゃ、誰が管轄なんだということで一生懸命調べたんですけれどもどこにも行き当らなくて、本当に私が1人で悶々と悩んでいたというような状況でした。

先ほど、運営はスポ連さんに任せて、スポ連さんでということがありましたけれども、一応、仙波小校区としては、主体は育成会でということで、そのサポートをスポ連がいたしますということになっているので、あくまで私がどうにかするしかなかったんですけれども、仙波小は1カ月かけて練習もしていますので、ものすごくみんなが盛り上がっている中で中止にしているのか、危険にさらしているのか、緊急連絡先とかそういう何がどう起こったらどこに救急車をとめるとかそういうところも全部シミュレーションもしたんですけれども、何でここまでしなきゃいけないんだとかと思いながら悶々としていて、誰かとめてくれないかというのをずっと思っていたんですけれども、結局当日、前々日ぐらいまでどうにもとまらなくて、最後、スポ連の会長さんからご連絡をいただいたというような状況でした。

これは全然会長さんが悪いわけでもなく、私が主体的にとめればよかったんですけれども、ただ誰に意見を求めればよかったのかというのがすごくわからなくて、

市長なのか、教育長なのか、校長先生でないことは確かで、その窓口と責任、じゃ事故があったら誰それさんのせいと言えます後ろ盾がほしかったんですけれども、誰もいない状態で、もう私が倒れちゃうんじゃないかぐらいつらかった7月だったんですけれども、そのあたりの責任の所在というか、どこが運営していて、誰にそういうときは相談をしたらいいのかというのを教えていただけたらと思います。

文化スポーツ部長 大会について、基本的には主催が両者という形になっているのと、主に市のスポーツ振興課が担当し、主管としてはスポーツ推進委員さんの協議会にお願いしていますので、そこと市といろんな相談なりお話をしながら、最終的にはスポーツ振興課にご相談いただいて決めるという形になると思います。

意見 スポーツ推進委員の方は補助でやってくれているので、地域の方にどうしたらいいかというのを、助けてもらっているのに、それを何か確認するというのはどうしてもできないんです。

市長 今の件については、私自身も担当部長も、その仕組みをしっかりと理解できていないので、持ち帰って検討させていただいて、例えば市子連を通じて回答するという事にさせていただきたいと思います。

意見 今、仙波小さんは、そのスポーツ委員の方々が協力してくださってという形で良好な関係が築けているかと思うんですけれども、そうじゃない場合もあるので、すごく複雑なんだと思います。皆さん大人なので言いませんけれども、もうそっち側の、何かそれ見ていてハラスメントだよというような状況もなくはないところもあるんです。そうすると、日にちを変えるということも、子ども会、育成会だけで相談して決められないという状況もありますので、その辺のこともご理解の上、どこで判断をしていいのかというところを子どもの安全のためにぜひ、もう本当に何か月かでそういう季節が来てしまいますので、早いうちに具体的に。一発回答じゃなくて結構ですので、何回かご相談させていただければ一番いいかなと思います。

意見 学校とかでも体育をやらないという基準で、気象庁から出ている警報レベルの気温と水温が何度とかいう基準があると思うので、そういうのも絶対じゃないけれども、スポーツの大会をするに当たっては、この気温、この湿度だったらやめましようとかいう基準が何か1個でもあると、誰が校区長になっても、主催側としても迷わずに、もうこれだからやめましようとしてスポ連さんと校区長さんでそこを頼りにして安心して判断できるのかなと思います。自分が決めるということで、一生懸

命練習した人たちの気持ちがとかあるんですけども、この気温とこの湿度だからできないねと言え、それは仕方がないことなので、安全のためにそれを基準に考えましょうという指針が確認できればいいのかなと思いました。

意見 多分でも、それでも誰かが中止だよと子どもに言わなきゃいけないんで、それを楽しみにして頑張ってきた子がいるからというところがあるので、皆さんのとても難しいところなんだと思うんです。

自分自身は地域のスポーツにかかわっているんで、少年の安全管理、また別のあれがありますけれども、そうじゃない子ども、普段あまりスポーツをやらない子どもセッかくやれて、何か充実感等を感じてほしいタイミングなので、やらせてあげたいという大人の思いというのも含めて、開催に対しての何か良案みたいなのを見つけていただければというふうに思います。またご相談させてください。

意見 高階西小校区です。先ほど仙波小校区さんもおっしゃっていたんですけども、その開催時期を簡単にずらせられないんですよ、引き継いできたものがあるので。

それで、私どもは6月末でやっているんですけども、確かにすごい暑かったんです。じゃ、これは暑かったから9月、10月にずらしましょうと簡単には行かないんです。なぜかという、なぜ6月、7月に集中するかという、学校行事がそこら辺は手薄だから、学校側や地域からの協力が得られるからその時期に大体決まってきたんです、長い時間をかけて。

そうすると、9月、10月は学校行事が多い校区さんが多分ほとんどだと思うんです。だから、じゃずらせばいいとか、そういう簡単なものでもないんで、市側からお願いしたいのは、もう少し10月末までというより、もう少し猶予を持たせたりする必要も今後あるのかな、開催するに当たっては。

また、その中止の指標も、判断が全て私たちに集中するので、どこかで決めなきゃいけないところも出てきたりしますから、そういうところも考慮していただければなと思っています。

意見 高階北小校区です。高階地区では独自でなんですけれども5校区大会をしております。皆さんもおっしゃっているとおり、7月だと猛暑というか酷暑で、役員は朝6時半ごろから準備をしております、子どもたちは9時ごろ開会式だったと思うんですが、朝の9時でもうバタバタ倒れて、保健室のような感じでエアコンの

かかった教室を貸していただいたんですけれども、かなり満杯だったと思うんです。

その5校区の大会を、倒れた子が多かったので、6月末に今度持つてくることになったんです。校区大会を私どもは6月末にやっておりましたが、やはり前倒しに、中旬ごろやろうということになりました。幸い、私どものスポーツ推進委員さん、とても協力的で、その辺も柔軟に考えてくださいます、それでもいいんじゃないかと言ってくさっているんですけれども、先ほど違う校区さんもおっしゃっていましたが、説明会とか、あとボールをくださるとき、6月十何日ですよ。間に合わないの、その辺をもう少し検討を重ねてお願いしたいなと思います。

もう1点だけ、大学ノートと蛍光ペンを参加賞でいただいているんですけれども、私どもの学校では大学ノートは使いません。方眼ノートなんです、5ミリ方眼ノート。もし低学年とか出てきてくれても自由帳にもならないし、申しわけないんですが何年も続けて出てくれている子はまた蛍光ペンかよとかそういう声が聞こえてくるんですね、渡してると。なので、その辺をもうちょっと検討いただけたら幸いです。よろしくお願ひします。

意見 川越第一小学校です。いろいろな理由があって少年少女スポーツ大会は始まったと思います。現在、市の補助金もいただいてやっているところなんですけれども、そもそもスポーツ大会をやる必要性、ここまでの問題があって、猛暑がこれからもずっと続くことが予想される中で、スポーツ大会にこだわる必要があるのかなという根本的な部分も検討してもいいのかなと思います。スポーツ大会以外のものですとか、このスポーツ大会の目的はスポーツなのか、それとも地域との交流なのか、その辺も含めて目的がそれであれば、もっと違うものでいいのかなと。このままスポーツ大会を続けていても、毎年どこかで猛暑だとか、またはエアコンがとか、いつも出てくるのかななんて思います。ご検討お願いします。

(後日、市長からの回答)

1. 少年少女スポーツ大会の説明会について

少年少女スポーツ大会の開催時期見直しにつきましては、終期を延長することは可能であり、11月以降の開催でも問題はないと考えます。

ただし、始期につきましては、大会で使用する物品を新年度に契約発注にて購入する必要があり、全校区の必要物品を把握後、発注の手順を踏むために、納品が6月中旬以降となってしまうことから、開催は、6月中旬以降としております。

そのため、全校区分の開催種目と必要物品の希望が4月中に決定、集計することができれば、物品納期が早まり、始期も早めることが可能であると考えられます。

説明会につきましては、主管となるスポーツ推進委員が4月に改選されることや、総会の開催も4月下旬となることから、開催時期は5月以降となってしまうのが、現状となっております。

なお、今年度の説明会につきましては、会場の都合により5月10日（金曜）本市役所にて開催を予定しております。

2. 少年少女スポーツ大会の運営について

少年少女スポーツ大会につきましては、市が主催する事業となっておりますが、大会当日における運営はスポーツ推進委員連絡協議会（以下、協議会）にお願いしております。

市では、実施にあたり、協議会や育成会の皆様に対する当該大会の運営に関する説明会の開催のほか、運営に必要な物品等を調達し協議会へ渡すこととなっており、大会当日は、協議会や育成会などの地域の皆様をお願いしております。

また、市といたしましては、天候等の理由により開催を中止するべき場合があること等を説明し、当該大会が安全に行われるよう指導、助言等に努めております。

しかしながら、今回いただきました御質問、御意見を踏まえ、所管課であるスポーツ振興課におきまして、より丁寧な情報の提供と御相談を受けてまいります。

なお、当該大会の主催者が実質的に市である以上、当該大会の運営にあたって、参加者に対し市が本来果たすべき安全配慮義務を果たさなかったことによって参加者に損害が生じた場合には、市が責任を負うものとなります。

いずれにしましても、御不明な点や御不安な点が生じた場合は、御遠慮なく所管課に御相談ください。

《子どもの遊び場》

意見 高階南小校区です。ボール遊び禁止の公園などについてなんですけれども、うちの地域は今7町ありまして、7町に、各町にほとんど公園があるんですけれども、子どもたちがボールで遊ぶことを禁止されているために、子どもが伸び伸びと元気に遊ぶ場がないなと感じております。

また、少し離れたところに公共グラウンドがあるんですけども、休日などはグラウンドゴルフだったり少年野球だったりサッカーだったりとやっているの、なかなか遊ぶということができなくて、また休日の学校も、グラウンドゴルフをやっているときはグラウンドに入れませんという形で拒否されていますので、なかなか子どもがボールを使って遊ぶ場がなくなってしまったなどとても残念に思っています。

また、ボール以外の遊びでも、公園の周りには住宅が結構密集してしまっていて、子どもたちがちょっと人数集まってしゃべっているだけでも、うるさいと注意されてしまうので、子どもたちの行き場がないというのが現状でして、公民館などに集まってということもありますけれども、騒いではいけないとか、必要以上にしゃべってはいけないというような雰囲気がありますので、今後、何かそういう子どもたちが集まって遊べる場所の提供についての検討はないのかなということが知りたいです。

市長 世の中がいろいろな面で厳しくなってきた、昔だったら保育園の子どもたちが騒いでいても、誰も文句を言わなかったのに、最近ではうるさいから保育園をつくらないでほしいとか、そういう地域の人の要望が出るとか、そういう状況がございます。

ボール遊びについても、周辺の住宅にボールが飛び込んだりして迷惑をかけてしまうからやめてくれというような意見がずっと出てきた関係で禁止になっております。

子どもたちのための遊び場、集まる場として考えられるのは、やっぱり学校の校庭かなと私は考えております。もちろん地域のグラウンドゴルフであるとかクラブスポーツなどが使っているというのが現状ですが、それは少し改善して、子どもたちのための場所として活かしていく必要があるんじゃないだろうかと考えております。その辺については時間がかかるかもしれませんが、私としてはそういう方向で進めて行きたいと思っております。

残念ながら、特に住宅地に新しく広場を設けるといのはいろいろな面で障害が多くあって難しい、お金の面もあるし、土地を空けてもらうのにすごく大変であるとかそういうことがあるので、やっぱり学校が一番、もとに戻して学校は子どもたちの場所というような形にしていくのがいいのかなと思っておりますので、お時間い

ただきたいと思います。

意見 月越小校区です。先ほどの高階南小の方ともかぶってしまうんですが、月越小校区では校区内にこどもの城がありまして、放課後、近くの子どもたちは遊びに行くことができます。ただ、ちょっと離れている地域の子だと、そこまで行くのに道路を横断しなきゃいけないとか、危ないところがあって、行く子は限られています。

そのため、どうしても家の近くの公園などで集まっていることが多いんですが、ボール遊び禁止の場所がほとんどで、せっかく公園で友達同士で集まっても、結局小さく固まって携帯のゲームをして遊んでいるというのを見かけることが多いので、安心してボールを使って体を動かすことができるような場所があればと思っています。

学校の校庭とかを解放されてはいるんですけども、クラブの野球とかで使っていることが多いので、学校に行っても体育館の横の細い狭いところでバスケをしたりとかというのが多いので、もっと伸び伸びと遊べる場所があればと思います。よろしくお願いします。

市長 ご意見として伺っておきたいと思います。

意見 牛子小校区です。ボール遊びのことで私も意見をいただきまして、ボール遊びがオーケーの公園を知りたいということがあったのと、あと禁止と書かれている看板がありながらゲートボールやグラウンドゴルフはやっているという現状で、それをどういうふうに子どもに説明したら通じるのかというのが疑問で、あと、南田島公園になると思うんですが、学校から30分、40分歩きますので、私どもの校区だとユニクスの裏のマンションも全部校区になります。あの辺の泉町の方もいらっしゃるって、下校が遅いと大体4時ぐらいになるので、4時に下校してうちに帰ってまた学校に行くとなるともう5時を過ぎてしまうので、物理的に不可能になるんです。

それで、近くの公園で遊ぼうと思って、その南田島公園はネットも高いところまで設置してあって、的当てもあるのになぜボール遊びができないんだと言っている方がいらっしゃるって、そのボール遊びができないという看板をそもそも外してほしいという意見がありました。なので、現地に行っていていただいて、ご確認していただければなと思うんですけども、よろしくお願ひいたします。

市長 その点につきましても宿題として対応させていただきます。

（後日、市長からの回答）

南田島北田公園には「野球・サッカー禁止」の看板を設置しておりますが、幼児のボール遊びや他の公園利用者がいない時間に行う軟式ボールでのキャッチボール、軟式ボールでの的当てなどを禁止している訳ではございません。

木製及び金属バットを使用した野球や試合形式でのサッカーなどはボールのコントロールが難しいため、公園の隣接地に住んでいる方々や他の公園利用者に迷惑がかかると考えていることから「野球・サッカー禁止」とさせていただいている状況です。

《防犯カメラ設置》

意見 高階北小校区です。私どもの学校は公園が隣接しております、誰でも入れるようになってしまっています。なっちゃってという言い方はあれなんですけれども、自由に入ってこられていい面もあるんですけれども、子どもが遊んでいたりと、あとプールをやっている時期は不審者がかなり多いです。大きいカメラを持ってジャングルジムに上っている子を盗撮してみたりとか、今、学校側ではプールの時期になるとシートを張っていただいているんですけれども、何年か前はありませんでした。そこも金網なので簡単に誰でも見られるような感じで、今、携帯で撮っていたりする方もいらっしゃいます。

近くに公園いろいろあるんですけれども、子どもにラジオ体操をやらせて、スカートの中を見たいとか、そういった不審者も出ています。そういうのは親が見回りとかしていても防ぎようがないと思うんです。

私どものPTA会長も、何かこういう会議で公園に防犯カメラをつけてくれないかとお願ひしたというのを小耳に挟んでしまって、私もぜひその辺をお願ひしたいなと感じております。防犯にもなるんじゃないかと思って、抑止力ですね、その辺はどうでしょうか。

市長 高階北小学校については私も見に行っ、公園との間に境がないということで、ひところ境をつけるべきかというようなことを学校に投げかけたんです。そうしたら、学校から、地域の人と話し合った結果、今のままでいいという返事が返ってきた記憶があるんです。それで今のああいう状況が続いているということなんで

す。

おっしゃったように、もし不審者とかそういう人が出没するというのであれば、防犯カメラ等、何らかの対応を考えたいと思います。

《公園整備》

意見 武蔵野小校区です。今の公園についてもちょっと兼ねるのかなと思うんですけども、私の地区では、そもそも学校からが結構遠くて、何か縦に長いような感じの学区なんですけれども、公園も大きいところがほとんどないということ、1か所にすごくいっぱいあるんですけれども、少し離れると全くないみたいな状態で、あとそれと同時に、避難所、避難場所というところがほとんどないです。学校まで1時間近くかけていくようなところもあるんですけれども、結局は小学校が避難場所になってしまって、関越道をくぐらなければいけないとか、危険な箇所を結構、崖みたいになっているところもありますので、そこにいたるまでが危険だなというのが現状です。

なので、広い場所、公園とかは避難場所、一時避難所にはなると思うので、そういう場所はぜひつくっていただきたいなと以前、市長に意見箱で言ったこともあります。ただ、それはなかなか難しいという返事で来てしまったんですけれども、いつ起きるかわからない災害ですので、そういう場所というのは本当に確実に準備しなければいけないのかなと思うので、ご検討お願いいたします。

市長 ご要望として承らせていただきます。

《母親の仕事と育成会活動①》

意見 育成会側のメンバーといろいろな意見があって、内容的には、母親の仕事と育成会活動というところなんですけれども、今日は時間のこともあり、書面で持ってきておりますので、そちらをお渡しします。それを読んでいただいて、育成会と言うもの、仕事をしている母親が育成会活動をしていて苦勞しているということ、先ほど仙波小さんが言っていたどこに投げかけていいのかという部分も含めて、いろいろ思うところがありますので、後ほど読んでいただければと思います。

《川越市子ども会育成団体連絡協議会の存在意義》

意見 第一小学校です。市の方ではなくて、皆様方にも伺いたいと思います。否定的なお話になってしまうかもしれないんですけども、市子連というのは必要なのかなと思って。今回 50 周年ということで、いろいろ記事を読ませていただいたりしました。結成当初は必要だったのかななんて思ったんですけども、今はどうなのかなと。存在意義、存在の活動について市子連さんにいろいろ伺いたいなと思って。

皆さん方に伺いたいのは、あつて助かったと思ったことがあるのかなと。逆になくても困らないのかなと、そういう部分というのはあるのかなと思って。ご質問させていただきたくて発言させてもらいました。

意見 そうですね、今日の趣旨と変わってきちゃうのかなというところですね。それは、無視できるようなご意見ではないと当然思いますので、先ほどの芳野小学校さんのご意見というのもそういうところに通じる部分もあろうかとは思っています。今日は市長とのタウンミーティングですので、また別の機会をどうつくと今お約束はできませんけれども、理事会等々でも意見を上げていただくという方法もあろうかと思っています。

《学校施設の整備》

意見 福原中学校です。私、福原中の卒業生なんですけれども、卒業して 25 年、よくも悪くも変わっていないと、トイレも変わっていないと思います。見えるところはきれいなんですけれども、トイレとか手洗い場の下の管が福原のは直管になっていて、普通は S 字に曲がってにおいが出てこないような形になっているんですけども、そういうところや、構造的におかしいのかなというところを直していただけたらなど。水回りは傷んでくるのはわかると思うので、お願いしたいと思います。

教育総務部長 福原中学校には、昭和 54 年ぐらいの一番古い建物があると思います。先ほど申しあげましたようにこれまで 3 年間空調のほうで大分予算を使いまして、その前は大規模改造事業といひまして、古い校舎から徐々に建てかえているところがございます。それから、それに合わせて屋上の防水や外壁を修理しました。先ほどおっしゃったように見た目、外側はきれいということなんですけれども、国の補助がそれにしかつかなくなってきたということもあります。市の単独の予算で

は、なかなか難しいところではあるんですけども、トイレの改修についても計画的にやっております、それも1校1系統といたしまして、要するに校舎縦にある、その縦の1列の部分だけの系統が川越市内全体で全部まだ整備できていないところなんです。大体1校やるのに4,000万から6,000万円ぐらいかかるものですから、順番に計画的にトイレの改修はやらせていただきたいと考えております。

《通学路の安全②》

意見 山田小校区です。山田小校区では、子どもサポート委員会の方が非常に助けてくださいます、先ほどから伺っている登校時の安全ですとかそういったのも、サポート委員の方が、ボランティアなんですけれども、とてもよく動いてくださったりして朝は安全です。

帰宅時、不審者が出たという情報があると、もうそこにすぐ、違う地区でも駆けつけて見に行ってくれたり、もちろん学校の先生もそこを見に行ってくれたりというふうな形で、みんなで見守ってくれています。

そうですね、後は自分は福田の交差点のそばなんですけれども、今その工事、北環状線の工事で非常に危険で、実際自分の家の前でも本当に年間に何度も交通事故がありまして、私自身、警察の方に今事故がおきましたよと連絡することもいたしました。

子どもがだんだん増えてきているので、信号機をつけてほしいということ警察の方に言ったら、こういった形で直接言っていただいてもすぐにはつきませんと言われたんですが、実際1年間の間に何度か言っていましたらつけてくださいました。それが本当に私の意見が通ったかわからないんですけども、ついたりしました。

山田小の隣に駐在所さんがあるんですけども、その方にも地区の皆さん、朝交通量の激しい国道254号線沿いを渡ってくる子もいますので、そちらの見守りもお願いしたいということ、毎年なんですけれどもご挨拶に伺った際にお願ひしましたら、毎朝この場所というわけにはいかないんですけども、国道254号線や交通量の多いところは駐在所の方が立ったりですとか、警察での研修をされた方が、年配の方なんですけれども、制服を着た方が立つだけで車の動きが変わったりとかありました。

実際、私たちはもう地区の方たちに直接ご協力というか、サポート委員の方が特

に動いてくださって、安全が結構確保されているのかなというのを感じまして、すみません。なかなかこうしてほしいという意見で私が今日持ってこられなかったので、手は先ほども挙げなかったんですけども、そのような形で山田はやっております。

市長 今の方がおっしゃったように、運転手というのは、警察官のような服装の人がいるだけでスピードを落とすんです。ですから、入間川街道についても、交通指導員の人というのは警察官と同じような格好をしていますから、交通指導員を2人あるいは3人ぐらい要所に立ってもらおうというようなことを工夫してみたら、随分効き目があるんじゃないかなということを先ほど思っていました。

交通指導員は、地域で選んでいただいて推薦していただければ、任命して制服を貸与するというのをやっておりますので、できればそういう方向で入間川街道の危険を少しでも下げる工夫をしていけたらいいなと思いました。

《母親の仕事と育成会活動②》

意見 霞ヶ関西小学校です。川越市長さんとお話しできる機会が普段なかなかないと思うので、今日はこんな機会をいただいてありがとうございます。

こんなことを言うのは申しわけないんですけども、今日のタウンミーティングは8時までと事前に伺っていたので、そわそわしていたんですけども、私も主人が仕事の関係で家にいなくて、子どもたちを今、家において待たせている状況なので、子どもたちの育成会なのに子どもをないがしろにしてしまうのは申しわけないなと思っていまして。お母さんたちの負担もありますし、何か少しでも子どもたちのために、時間を配慮してもらえたらなと思ったんですけども。すみません、こんなことを言って失礼しました。

意見 すみません、今の霞ヶ関西小の方と同意見になりますが、子どもがいて育成会の役員になり、子どものための役員という形で、資料等にも親が見本となりというようなことも書いてある中で、子どもたちが寂しい思いをしているという現状が、私たちが役員になってから、総会前の2月からもう動き出してもう1年以上の動きになっていく中で、本当にこういう時間であったりという部分で、子どもたちのためになっていないのではないかと感じています。この内容についても、先程お話ししました書面にまとめていますので、後ほど読んでいただけたらと思います。

市長 本日は、皆様方から大変貴重なご意見を頂戴することができまして、本当にありがとうございます。

運営面でお約束どおりに行かなかった点は、大変申しわけなかったと思っております。お詫び申し上げます。

これからも、このような機会でなくても構いませんし、先ほど言われたように市民意見箱等でも構いませんので、忌憚のないご意見を引き続き行政にお聞かせいただけたらと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は本当にありがとうございました。